



飯田 昌弘 議員(大樹会)
総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団について

Q スポーツ少年団がよりよい発展を続けるために市としてどのように考えているか。また、総合型地域スポーツクラブ育成に対する取り組みと各クラブに対する支援について伺いたい。

A 観光スポーツ部長

今後、市としては平成34年栃木国体に向けた選手育成と指導者養成のために、28年度佐野市アスリート育成プランを策定します。その中で、学校の部活動や総合型地域スポーツクラブを始め、地域スポーツ団体、佐野市体育協会などと連携するための在り方について検討していきます。

また、総合型地域スポーツクラブは、スポーツ少年団同様、ジュニアアスリートの育成団体として期待しているところですので、アスリート育成プランの中で検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆いじめ問題について
- ☆こどもの運動能力向上について
- ☆認知症サポーターのスキルアップについて
- ☆健康づくり活動としてのマイレージについて



横田 誠 議員(新風)
教員の多忙化解消策について

Q 教員の多忙化を解消する一つの策として非常に有用である*学校運営協議会(コミュニティースクール)制度の導入について、市は検討をしているか。

A 教育長

27年末の中央教育審議会ですべての学校がコミュニティースクールとなることを目指す提言がなされ、学校運営協議会制度導入のため法改正を目指し、努力義務化が提唱されているところです。

今後この制度の導入により、現在の学校評議員制度や学校支援地域本部事業などの各学校の教育活動を支援する仕組みをどのように変えて行く必要があるのか、また、教員の多忙化の解消にどうつながるのかなど、様々な角度から検討するとともに、国の動向を注視していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆中学校夜間学級について
- ☆18歳選挙を間近に控えた選挙に関する諸課題への対応について

※学校運営協議会制度(コミュニティースクール)とは…学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくりを進める仕組みです。



本郷 淳一 議員(公明党議員会)
観光事業の推進について

Q 観光立市を掲げて6年が経過したが、施策は大部分が国内の日帰り観光となっている。市の柱となる観光事業を推進するため、今後宿泊者数の拡大や宿泊施設の充実など、宿泊観光の強化や外国人対応の充実をどう図っていく考えか。

A 観光スポーツ部長

インバウンド観光は主要観光地から、地方へ拡大するものと考えます。この好機を逃さず関係機関と連携を図り、目標の1,000万人に近づけるよう推進していきます。また、スポーツツーリズムの推進により宿泊者数の増加も見込まれ、観光客が気持ちよく本市に滞在していただくためには宿泊施設の充実とともにお客様への対応やおもてなしの充実が重要と考えます。

今後は各宿泊施設と必要な情報提供を行うなど連携を密にして、その充実に向け、積極的な働きかけをしていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆デマンド交通の導入について

